



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

# 介護福祉経営士 ニュース KFK News

2017  
**7.25**  
No.37

【介護福祉経営士 活動レポート Vol.7】

第2回

## 全国介護福祉総合 フェスティバル IN YOKOHAMA 開催

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて  
—今こそ必要な世代間の相互理解と融合—

### CONTENTS

介護福祉経営士  
活動レポート Vol.7

第2回 全国介護福祉総合  
フェスティバル  
IN YOKOHAMA 開催

●合格者の声  
●2017年度  
「介護福祉経営士」  
資格認定試験案内

●今月の「介護ビジョン」  
●今月の書籍紹介

INFORMATION

イベント掲示板

一般社団法人  
日本介護福祉経営人材  
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局  
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>  
制作:株式会社日本医療企画  
編集・発行人:林 諄  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地  
もとみやビル3階





第1回全国介護福祉総合フェスティバル in 大阪の様子

第2回

# 全国介護福祉総合 フェスティバル IN YOKOHAMA開催

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて  
—今こそ必要な世代間の相互理解と融合

昨年に続き、全国介護福祉総合フェスティバルが2017(平成29)年8月4日(金)・5日(土)に、横浜産貿ホール「マリネリア」(横浜市中区)で開催する。その見どころの一部を紹介する。





# 介護を文化として捉え、 地域における世代間の格差の解消を！

現在、介護は多くの問題を抱えている。介護職員の人材不足、人材サービスの質の低下、厳しさを増す介護保険制度の財政状況等、今、介護は大きな転換期を迎えているとともに、それら諸問題を解決することが喫緊の課題となる。

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、こうした介護の現状を踏まえ、「介護の状況を少しでも良い方に変えていきたい」「社会全体で介護に取り組もう」との趣旨で本大会を企画し、昨年初めて大阪で開催した。今回の横浜開催は、この大阪開催に続く2回目となる。

今大会テーマは、「地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて——今こそ必要な世代間の相互理解と融合」。介護は地域社会にとって欠かせないものであるものの、若者と高齢者といった世代間の介護への理解が異なり、なかなか地域社会で介護に取り組もうとする意識は薄いのではないかと考え、今大会では介護を文化として捉えることで、地域における世代間の格差が少しでも解消されるのではないかと考え、大会テーマとした。

本大会が、「介護福祉経営士」による問題提起、発信を行うと同時に、幅広い世代、立場の人々が地域の介護福祉のあり方について考え、未来への夢をふくらませる場となるであろう。

以下に、その見どころの一部を紹介する。

## 1日目[8月4日(金)]の見どころ

### 特別対談

13:20～14:20

### Wチヅ子が介護の今を斬る！ 介護職の社会的地位確立に向けて —仕事の原動力と哲学

井上千津子

(元京都女子大学大学院教授)



上野千鶴子

(東京大学名誉教授)

■司会・コーディネーター:平山亮 (東京都健康長寿医療センター研究所  
福祉と生活ケア研究チーム研究員)

介護現場・介護教育の現場での長年の実績が光る元京都女子大学大学院教授の井上千津子氏と、「おひとりさまの老後」で知られる社会学者・上野千鶴子氏が、介護職の地位向上には何が必要かを徹底討論する。

### 座談会

15:45～16:45

### “介護福祉×教育”が広げる可能性 —地域でつくる豊かな学びの場を考えよう

小澤竹俊 (めぐみ在宅クリニック院長/一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会理事)

須藤シンジ (NPO法人ピープルデザイン研究所代表理事)

佐藤貴大 (文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学校協働推進室室長補佐)

■司会・コーディネーター:高瀬比左子 (「未来をつくるkaigoカフェ」主宰)

子どもから大人まで「介護」にかかわるにはどうしたらいいのか？ 介護や医療の現場で活躍している登壇者たちが「地域で介護を学び合う」重要性を議論する。

### パネルディスカッション

17:00～18:30

### 地域社会における 新たな介護文化とは？

#### ①「なぜ、新たな介護文化が必要なのか」

牧野史子 (特定非営利活動法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン代表)

#### ②「"oldculture"から"newculture"への 介護の視点」

菅原健介 (株式会社ぐるんどびー代表取締役)

#### ③「地域社会における介護の役割と 介護文化の創造に向けて」

佐塚玲子 (特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター副理事長・センター長)

■座長:中浜崇之 (特定非営利活動法人Ubdobe(ウブドベ)理事/  
社会福祉法人希桜会理事兼施設長/介護福祉士・介護支援専門員)

家族介護者支援で知られる「アラジン」、団地内での介護事業の展開が目目される「ぐるんどびー」、地元横浜で長年介護職員の教育をになってきた「よこはま地域福祉研究センター」という異なる立場の三者が、新しい「介護文化」のあり方を提示する。

### VR認知症体験会

各30分

体験会① 10:00～ 体験会② 10:50～

体験会③ 11:40～ 体験会④ 12:30～

各回50名  
(先着順)

株式会社シルバーウッド

認知症の中核症状をVRを用いて疑似体験できる本体験会。体験者から「認知症になると、こんな風に世界が見えるのか!」と驚きの声寄せられる体験会が、フェスに初登場!

## 2日目[8月5日(土)]の見どころ

座談会

13:20～14:20

### 地域社会における 介護福祉経営士の役割

—地域包括ケアシステムの推進力として何をすべきか

**神内秀之介** (介護福祉経営士 / 社会福祉法人手稲ロータス会特別養護老人ホーム手稲ロータス、グループホーム手稲ゆうゆう施設長)

**皆川敬** (介護福祉経営士 / サニーウインググループ代表)

**吉本勝明** (介護福祉経営士 / 滋賀県草津市役所 総合政策部部長)

■司会・コーディネーター: **齊木大** (株式会社日本総合研究所創発戦略センターシニアマネジャー)

全国で活躍中の介護福祉経営士が集結!! 介護福祉経営士としてどのように地域包括ケアシステムの推進役となっていったのか。その活躍と全国の介護福祉経営士に寄せる期待を大いに語る。

パネルディスカッション

14:35～16:00

### 地域イノベーションに挑む ニューリーダーたちの発想力

—世代間ギャップをいかに埋めていくのか

①「訪問看護ステーションの新潮流—世代間交流による地域活性化」

**吉江悟** (訪問看護ステーションビューソルゾフ 看護師・保健師)

②「対人支援を主軸とする人材育成システム—時代のニーズと世代間ギャップ」

**佐久間裕章** (NPO法人自立支援センターふるさとの会代表理事)

③「介護職員の流出を防ぐ組織づくり—職場の世代間ギャップにどう対応するか」

**内藤勇一** (社会福祉法人来光会理事兼業務統括施設長 / 介護老人福祉施設えもり施設長)

■座長: **小笠原浩一** (東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科教授 / 特定非営利活動法人日本介護経営学会副会長 / 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事)

さまざまなアプローチで新たな風を巻き起こすニューリーダーたちも、最初は「世代の壁」に戸惑った。世代間ギャップを乗り越えるためには、日々どのような発想を膨らませているのか、その秘訣を探る。

講演

10:00～11:00

### 「保険外サービス」に光

～混合介護＝家事サポート、助け合いNPO、キャンナス、お泊りデイ、拠点型サ高住、コミュニティカフェ、認知症カフェ～

**浅川澄一** (福祉ジャーナリスト / 公益社団法人長寿社会文化協会常務理事 / 元・日本経済新聞社編集委員)

介護事業者の収益源の一つとして注目されている介護保険外サービス。まだまだ導入に慎重な事業所も少なくない。保険外サービスの現状やその課題、また今後の方向性を解説する。

パネルディスカッション

10:10～11:40

### 介護×ICTミーティング

—テクノロジーが生み出す未来の介護とは

介護現場において、生産性を高めながら介護サービスの質を向上させていくため、業務効率化を促すICT活用は待ったなしの段階を迎えている。これからの「介護×ICT」の将来ビジョンを語り合おう。

講座

15:00～16:00

### 認知症サポーター養成講座

～オレンジリング取得に向けて～

■横浜市健康福祉局 高齢健康福祉部高齢在宅支援課

厚生労働省が養成を進めている認知症サポーター。2016年度末までに約880万人が取得し、20年度末までには1200万人の目標が掲げられている。まだ受講をされていないという方、ぜひこの機会にオレンジリングを取得しよう!

クロージングセレモニー

16:15～16:45

### 横浜・介護文化創造宣言



### 第2回『介護福祉のみらい』作文コンクール

将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とすることを目的とした、第2回『介護福祉のみらい』作文コンクールの表彰式が行われる。

「介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと」「自分の老後を想像して考えたこと」「これからの介護や福祉に関する私の意見」という3つのテーマ(課題)のうち、中学生・高校生が感じることを、考えることをまとめた作文が多く集まった。多数の応募作の中から、黒澤貞夫選考委員長(一般社団法人 介護福祉指導教育推進機構代表理事)による厳選な審査により、最優秀賞、優秀賞、かながわ福祉サービス振興会理事長賞、介護甲子園賞が発表される。当日は受賞者も登壇予定で、賞状・副賞が授与される。



このほかにもさまざまなプログラムをご用意しております。お誘い合わせのうえ、ご来場ください。

第1日:8月4日(金) 9:30～18:30 / 第2日:8月5日(土) 10:00～16:45

会場:横浜産買ホール「マリネリア」(横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階)

定員:ステージA:200名 / ステージB:100名

<http://www.nkfk.jp/kaigofes2017/>

※事前登録をしないで当日参加する場合、プログラムによっては事前登録をいただいた方を優先してご入場させていただきます。

参加料  
無料  
(事前登録制)



## 介護福祉分野に特化した社労士として 地域NO.1の介護特化社労士事務所へ!

佐藤 健次 ● さとう・けんじ

社会保険労務士法人オーケ  
介護福祉経営士2級

### 企業の成長が 社会保険労務士としてのよろこび

現在、社会保険労務士(社労士)として仕事をしています。社労士は、労働・社会保険分野の専門家です。企業の成長には、お金、モノ、人材が必要とされていますが、その中でも人材に関するエキスパートです。企業における採用から退職までの「労働・社会保険に関する諸問題」や「年金の相談」などに応じており、その結果、企業の労使関係が改善して企業が成長し、そこで働く社員やそのご家族が幸せになれば、それに勝るよろこび、やりがいはありません。

私は、介護保険法施行時から同時にスタートした成年後見制度に現在まで取り組んでいます。実務上、介護福祉・医療等の知識が不可欠です。ところが、介護保険法は社労士の専門分野の一つであるにもかかわらず、私を含めてあまり得意でない社労士が多いのが現状です。そこで、社労士会全体として2~3年ほど前から医療や介護の労務管理に関する研修等に取り組んでおり、私もそれに参加しながら、特に介護分野に関しては、全国の介護特化社労士の団体に所属して研鑽を積んできました。

### 学習方法を工夫して 2カ月の受験勉強期間で合格

介護福祉分野について体系的に勉強したいと思い見つけたのが「介護福祉経営士」とそのテキストでした。ただ勉強するだけでは続かないと思い、短期間に集中して学習するために資格取得を目標に取り組みすることにしました。前述した介護特化社労士団体の専務理事をされている方が、テキスト執筆者の一人であったことも受験理由の一つです。

受験勉強期間は2カ月程度しかなかったため、受験1カ月前に行われた受験対策講座を受講し、ほかに過去問、予想問題等を中心に解き、その周辺知識をテキストで調べるという学習方法を取りました。そのため、あまり目を通してないテキストもありますが、これからゆっくりと勉強していきたいと思っています。

今後は、名刺やプロフィール等に「介護福祉経営士」と明記し、介護福祉分野に特化した社労士としてPRしていきたいと思っています。4月には、九州支部の研修会に参加させていただき、同じ資格を持つ方々との交流、情報交換をさせていただき大変勉強になりました。今後も機会があれば積極的に交流を図っていきたいと思っています。

### 介護事業者と働く職員のために 尽力したい

介護保険法を司る士業が社労士であることを知らない介護事業者もいるかもしれません。今後は介護福祉分野に特化した社労士として、地域の介護事業所に積極的に広報し、地域NO.1の介護特化社労士事務所になるよう取り組んでいきたいと思っています。

介護事業者に対して適切なアドバイスができるコンサルタントが非常に少ない現状、介護事業者の指定取消件数は10年間で実に880事業所に上り、介護報酬の返還金額は年間で50億円とも言われています。そのような中で、介護事業者が安心して経営に専念でき、そこで働く職員の待遇や労働環境向上のために、少しでもお手伝いができることを目指します。

医療業界に関しても、医療労務コンサルタントとして、医師、看護師等職員の労働環境の改善と労働・社会保険等諸課題の解決に尽力していきたいと思っています。

## 2017年度 「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

「介護福祉経営士」資格認定試験(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の2017年度試験日程は下記の通り。

第14回 2級	第4回 1級	第15回 2級
2017年		2018年
11月12日(日)		3月18日(日)

「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。「1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けること。試験に関する情報は、同会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にて随時公開していく。

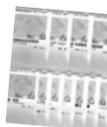
### ■「介護福祉経営士2級」資格認定試験概要

受験料	8,000円(税込)	出題問数	40問
出題形式	多肢選択式、マークシート記入	試験時間	60分
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません (成年被後見人および被保佐人でないこと)		
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡		

介護福祉  
経営士テキスト  
のご案内

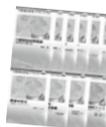
介護福祉経営士  
1級試験 準拠

実践編 全11巻  
価格:25,710円(税込)



介護福祉経営士  
2級試験 準拠

基礎編 全10巻  
価格:23,660円(税込)



注目の!

特集

## 成功していない組織が学ぶべき 「失敗の本質」

小池百合子東京都知事が座右の書として挙げ、話題となった『失敗の本質』。30年以上前の発行にもかかわらず再び注目を集めているのは、日本軍の組織的敗因を未だ学び切れていない経緯があると考えられる。

本特集では『失敗の本質』ならびに同著を解説した『「超」入門 失敗の本質』の筆者に、両著を通じて介護事業者に伝えたいものを語っていただく。

また、介護業界と日本軍に共通する組織構造の脆弱性を指摘するとともに、過去の失敗から、今、組織運営において何を学ぶべきかを探る。



最新介護経営 介護を変える多面的介護経営情報誌  
**介護ビジョン** 8月号  
特集 成功していない組織が学ぶべき  
**失敗の本質**  
新介護時代への挑戦  
多田 宏  
つづいては  
介護事業者の  
新たな輪  
新たな介護の文化・価値を創造  
介護現場・介護ビジネス・介護概念が変わる  
2017年8月号  
(2017年7月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)

今月の  
書籍紹介

## 介護経営白書 2017-2018年版

新しい介護文化とイノベーション——介護現場・介護ビジネス・介護概念が変わる

介護保険制度が始まり17年が経過し、『介護』の概念も大きく変わってきた。食事、入浴、排せつの介助というお世話をする介護から自立支援の介護へ、また、家庭の中で家族が担う介護から社会のさまざまな資源を活用する介護へと、人々の意識も変化してきている。今後、介護事業者にはこうした観点に基づいた介護サービスを創造し、提供していくことが求められる。人が高齢や障がいのために他者の介助を受けることになったとしても最期まで幸せに生きていくことを全国民で追求していくことが「新しい介護文化」として捉えることができよう。そのなかでの介護事業者の役割は大きいものであり、新しい視点でサービスを創造し、新しい技術を駆使し業務改革を行っていけば、事業の可能性は無限に広がるであろう。

人生100年時代における介護を再定義、将来展望していき、介護事業を行う人々に今後の経営戦略を立てるうえで有益な情報を提示する。



8月発行

- 編集委員代表: 多田 宏  
(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会代表理事)
- 編集委員: 青木 正人(株式会社ウエルビー代表取締役)  
川淵 孝一(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授)
- 企画・制作: ヘルスクエア総合政策研究所
- 定価: 4,320円(本体価格: 4,000円+税)
- 体裁: B5判/206ページ
- ISBN: 978-4-86439-582-3

目次

### 【第1部】 新しい介護文化の創造

- 第1章 介護文化を大いに論じる
- 第2章 暮らしを支える各分野はどう変化していくのか
- 第3章 新しい介護文化をつくるサービス
- 第4章 新しい介護文化をつくる人々

### 【第2部】 イノベーション旋風を巻き起こす

- 第1章 アナログからデジタルへ ICTがつくる介護の未来を考える
- 第2章 安心・安全な見守り技術はどこまで進化できるか
- 第3章 介護施設のスタッフとして大活躍するロボット
- 第4章 移動や歩行をサポートする道具の進化と未来

# INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします

日本医療企画／コニカミノルタ 戦略的介護経営セミナー

## 介護経営の課題と生産性向上 「イノベーション」をテーマに講演

株式会社日本医療企画とコニカミノルタ株式会社は6月22日、名古屋市内で「戦略的介護経営セミナー～介護サービスの質を高めるイノベーションを探る～」を開催し、約60人が参加した。

基調講演を「介護事業をめぐる規制緩和と求められる経営イノベーション」と題して、東京医科歯科大学大学院教授で一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会理事の川渕孝一氏が行った。川渕氏は、産業競争力会議医療・介護等分科会の委員を務めた立場から、「混合介護の拡大」をめぐる議論の経緯について解説。さらに2018年度診療・介護報酬同時改定や各種法制度の動向を見据えて、介護経営の課題を網羅的に指摘した。

次に、コニカミノルタ新規事業統括部ケアサポート事業推進部部長の掃部幸一氏が「生産性向上を実現する介護業務イノベーション」と題して講演。センサー、カメラ技

術を活用した介護施設のICT化による現場業務改革について導入事例に基づき解説を行った。さらに、大成建設株式会社建築営業本部の三池敏裕氏が「介護施設におけるBCPの実例」について講演した。



日本医療企画 介護ICTミーティング第2回イベント

## 介護業界を変えていく新たなコミュニティイベント

介護事業所とICT事業者の有志によるコミュニティイベント「介護ICTミーティング」が6月29日、東京都内で開催された。4月に実施されたトークセッション形式（主催：日本医療企画）に続く第2回であり、約30人が参加した。懇親会形式で、5分程度の短いプレゼンテーションを次々と展開していく「ライトニングトーク（LT）」が行われた。

「介護ICTミーティング」の主旨は、介護のICT化を進めていくために、介護事業者とICT事業者の相互理解と連携を深めていくこと。LTでは、記録や書類、連絡調整が多い現

場業務の改善のためベンダーが異なっても提供予定実績データをつなげるシステム、低消費電力と小型化が可能な通信規格を採用した位置情報サービスを活用する見守りIoT——などが提案された。

参加者からは「今後の介護業界を変えていくコミュニティとして非常に貴重な時間を過ごすことができた」「（介護現場で）こういう業務をしていて、この部分で困っているというような内容が聞きたい」などの感想が聞かれた。今後も約2カ月に1回の頻度で開催する予定。

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

### 北海道支部

#### 経営士として自分の働く業界を知っておこう！ 社会保障ゼミⅡ

昨年度大好評のうちに幕を閉じたゼミがバージョンアップして今年度も開催する。将来の医療介護の行き先を知りたい方に最適。若手中堅もベテランも、業種・職種問わずみんなで学べるゼミ形式の勉強会だ。

- 日時：2017年5月26日(金)、6月23日(金)、7月28日(金)、8月25日(金)、9月22日(金) 各回18:30～20:00
- 講師：神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士)
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム  
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員 各回1,000円、一般 各回1,500円※資料代、税込
- 定員：30名
- 共催：日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部、  
日本医療経営実践協会北海道支部、日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ 日本介護福祉経営人材教育協会 北海道支部  
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)  
TEL.011-223-5125

### 北海道支部

#### 地域を知る 仲間と繋がる 共に学ぶ 医療・介護・栄養経営士3支部合同研究会

地域包括ケア時代に必要な医療・介護・栄養の一体化に向けて経営士としてさまざまな職種、業種、立場で活動する人材が集う、ジャンルを超えた研究会を合同開催する。

- 日時：2017年5月19日(金)、6月16日(金)、7月21日(金)、8月18日(金)、9月15日(金) 各回18:30～19:30
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム  
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員 各回500円、一般 各回1,000円※資料代、税込
- 定員：30名
- 共催：日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部、  
日本医療経営実践協会北海道支部、日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ 日本医療経営実践協会 北海道支部  
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)  
TEL.011-223-5125

### 九州支部

#### 介護経営講座 介護会計／事業計画／経営戦略に強くなる講座

介護経営に不可欠な「介護会計」「事業計画」「経営戦略」の3要素を5日間で徹底的に学ぶ。基礎、ノウハウ、理論から実践までトータルに身につく。

- 講座・日時：  
会計講座I:2017年7月21日(金)、会計講座II:7月22日(土)、  
事業計画の立て方I:8月9日(水)、  
事業計画の立て方II:8月10日(木)、  
経営戦略とマネジメント8月25日(金) 各回10:00～16:00
- 会場：会計講座III・経営戦略とマネジメント：事務機ビル  
(福岡県福岡市博多区博多駅南1-2-15)  
事業計画の立て方III：日本医療企画九州支社  
(福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6第三博多借成ビル503)
- 受講料：1日のみ受講7,000円、1講座両日受講12,000円、全5日間受講30,000円  
※税込  
※日本介護福祉経営人材教育協会会員は、受講料各回1,000円を割引。  
テキストは特別価格にてご購入できます。
- 定員：20名※開催最少人数に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 主催：株式会社日本医療企画
- 後援：日本介護福祉経営人材教育協会九州支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 九州支社  
TEL.092-418-2828

### 日本医療企画

#### 高齢者住宅セミナー2017 2018年度医療・介護W改定対策セミナー

- 名古屋会場  
日時：2017年8月26日(土) 14:00～16:30  
演者：長面川さより氏(株式会社ウォームハーツ代表取締役)
- 静岡会場  
日時：2017年9月2日(土) 13:30～16:30  
演者：今瀬俊彦氏(株式会社今瀬ヘルスケアコンサルティング所長)
- 長野会場  
日時：2017年9月10日(日) 10:00～12:00 / 14:00～17:00  
演者：【午前】金丸隆文氏(山下医科器械株式会社ソリューション事業推進部事業開発部長)  
【午後】馬場博氏(一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー)
- 広島会場  
日時：2017年9月16日(土) 13:30～16:30  
演者：馬場博氏(一般社団法人C.C.Net専務理事・チーフアドバイザー)
- 東京会場  
日時：2017年9月16日(土) 14:00～16:30  
演者：長面川さより氏(株式会社ウォームハーツ代表取締役)
- 大阪会場  
日時：2017年10月7日(土) 13:30～16:30  
演者：長面川さより氏(株式会社ウォームハーツ代表取締役)

■対象：病院、診療所、介護事業所  
(開設予定者・土地活用を含む) ■主催：株式会社日本医療企画  
■参加費：無料 ■共催：パナホーム株式会社

お問い合わせ ●名古屋会場：株式会社日本医療企画 中部支社 TEL.052-209-5451  
●静岡会場、長野会場、東京会場：  
株式会社日本医療企画 関東支社 TEL.03-3256-2885  
●広島会場：株式会社日本医療企画 九州支社 TEL.092-418-2828  
●大阪会場：株式会社日本医療企画 関西支社 TEL.06-7660-1761

### 日本医療企画

#### アジア健康構想が拓く日本・アジア介護事業の未来

「アジア健康構想」の発案者である武見敬三参議院議員の講演をはじめ、介護・医療・ヘルスケアの成長産業化の道筋を示す。

- 日時：2017年10月16日(月) 18:00～21:00
- 内容：  
【調査報告】「アジア健康構想」実現に向けた調査報告について  
今中英二氏(株式会社ウエルビー・介護福祉経営士2級)  
【講演1】「アジア健康構想」が目指す未来  
武見敬三氏(参議院議員)  
【講演2】介護事業者の海外展開支援  
藤本康二氏(内閣官房健康・医療戦略室次長)  
【シンポジウム】「アジア健康構想」の実現のために介護・医療事業者は何をすべきか?  
座長：青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役)
- 会場：株式会社日本医療企画もとみやセミナールーム  
(東京都千代田区神田東松下町17番地もとみやビル3階)
- 参加費：協会会員3,000円、『介護ビジョン』定期購読者6,000円、一般9,000円
- 定員：70名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
- 主催：株式会社日本医療企画
- 共催：株式会社ウエルビー
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、  
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 セミナー事務局  
TEL.03-3256-2885

### 日本医療企画

#### 貝塚式介護技術 「こころと身体で覚える介護技術」実践講座

手技だけではなく心を伴ってこそ介護技術であるという貝塚式介護技術の基本的な考え方や手順について学ぶ講座。新任職員研修として、また管理者や現場リーダーが指導する際のポイントをつかむために最適だ。

- 日時：2017年9月9日(日) 10:00～16:30
- 講師：貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所代表)
- 会場：日本医療企画九州支社  
(福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6第三博多借成ビル503)  
※会場が変更になる場合もございます
- 参加費：協会会員5,000円、一般6,000円 ※税込
- 定員：20名(先着順) ※最少開催人数に満たない場合は中止する場合もございます
- 主催：株式会社日本医療企画九州支社
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 九州支社  
TEL.092-418-2828